

令和元年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S05-04-01		
施設名	ゆいの森あらかわ				
所在地	荒川区荒川二丁目50番1号				
部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	23~28年度	6,655,091	国・都	831,606
	増改築①			区債	3,817,000
	増改築②			一般財源	2,006,485
併設施設					
竣工年月日	平成29年1月31日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成29年3月26日	職員数	79		
構造	鉄筋コンクリート造	階層	地上5階・地下1階		
面積	敷地面積				4,111 m <sup>2</sup>
	延床面積				10,944 m <sup>2</sup>
設置目的・経緯	利用者が自ら学び体験し、人と人が交流できる地域の文化やコミュニケーションの拠点づくりを推進する。				
関連部署	地域図書館課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立ゆいの森あらかわ条例				
駐車場の状況	12台	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	370台	対応状況	● 点字ブロック	● スロープ	



**II 管理運営の状況**

管理形態	直営	-	期間	-	から まで	
事業内容	(1) ゆいの森あらかわ事務管理・運営に関する事業 (2) ゆいの森あらかわ子どもひろば運営等に関する事業 (3) 吉村昭記念文学館推進事業 (4) 中央図書館運営事業					
対象者	区民等					
運営時間等	運営時間	午前9時30分～午後8時30分				
	休日	毎月第3木曜日、特別整理日、年末年始 他				
施設基本データ等		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (見込み)
	来館者数※		151,713	690,094	707,295	721,000
	利用登録者数※		7,990	20,422	26,378	30,000
	所蔵資料数(点)		359,935	375,391	394,326	414,000
	貸出利用者数(人)※		63,681	198,222	200,345	202,000
	貸出資料数(点)※		179,841	764,205	764,510	765,000
	開館日数(日)※		224	340	339	340
	イベント開催数(回)		2	332	492	500
	に指定 に係る 管理 費用等					
	備考	※印の項目は、平成28年度の数値に旧荒川図書館分を含む。				

**III 財務諸表**

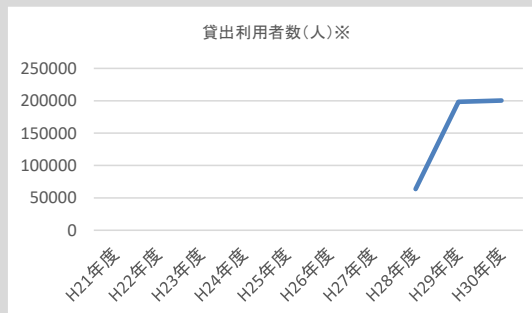
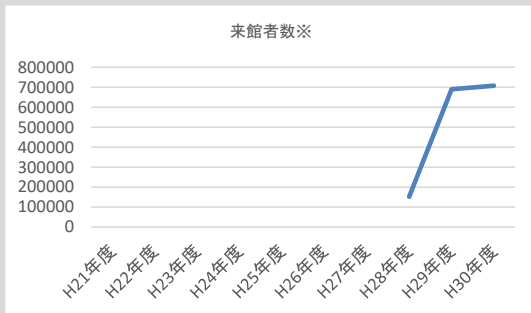
(単位:千円)

	勘定科目			H29年度	H30年度	差額	勘定科目			H29年度	H30年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	特別収入	当期収支差額			
行政コスト計算書	給与関係費	325,752	319,178	▲ 6,574	地方税等	0	0	0	0	0	0	
	物件費	294,101	328,519	▲ 34,418	国庫支出金	3,266	3,320	54	3,266	3,320	54	
	維持補修費	527	1,246	▲ 719	都支金	3,266	3,320	54	3,266	3,320	54	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	0	0	
	補助費等	4,143	3,788	▲ 355	使用料及び手数料	5,054	5,320	266	5,054	5,320	266	
	減価償却費	256,012	256,184	172	その他	7,869	7,523	▲ 346	7,869	7,523	▲ 346	
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	19,455	19,483	28	19,455	19,483	28	
	賞与・退職給与引当金繰入額	52,968	26,041	▲ 26,927	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 914,048	▲ 915,473	▲ 1,425	▲ 914,048	▲ 915,473	▲ 1,425	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 11,510	▲ 11,866	▲ 356	▲ 11,510	▲ 11,866	▲ 356	
	行政費用合計(b)	933,503	934,956	1,453	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 925,558	▲ 927,339	▲ 1,781	▲ 925,558	▲ 927,339	▲ 1,781	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 925,558	▲ 927,339	▲ 1,781	▲ 925,558	▲ 927,339	▲ 1,781		
貸借対照表	勘定科目			H29年度	H30年度	差額	勘定科目			H29年度	H30年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	134,289	759,881	625,592	134,289	759,881	625,592
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	125,309	750,800	625,491	125,309	750,800	625,491	
	有形固定資産	7,880,444	7,632,336	▲ 248,108	賞与引当金	8,980	9,081	101	8,980	9,081	101	
	土地	1,622,139	1,622,139	0	その他の流動負債	0	0	0	0	0	0	
	建物	6,431,429	6,431,429	0	固定負債	3,697,812	2,964,662	▲ 733,150	3,697,812	2,964,662	▲ 733,150	
	建物減価償却累計額	▲ 242,163	▲ 484,497	▲ 242,334	特別区債	3,629,999	2,879,199	▲ 750,800	3,629,999	2,879,199	▲ 750,800	
	工作物等	74,811	74,811	0	退職給与引当金	67,813	85,463	17,650	67,813	85,463	17,650	
	工作物等減価償却累計額	▲ 5,774	▲ 11,548	▲ 5,774	その他の固定負債	0	0	0	0	0	0	
無形固定資産	271	239	▲ 32	負債の部合計	3,832,101	3,724,543	▲ 107,558	3,832,101	3,724,543	▲ 107,558		
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	4,122,307	3,973,681	▲ 148,626	4,122,307	3,973,681	▲ 148,626		
その他の固定資産	73,693	65,649	▲ 8,044	正味財産の部合計	4,122,307	3,973,681	▲ 148,626	4,122,307	3,973,681	▲ 148,626		
資産の部合計	7,954,408	7,698,224	▲ 256,184	負債及び正味財産の部合計	7,954,408	7,698,224	▲ 256,184	7,954,408	7,698,224	▲ 256,184		
備考	行政費用では給与関係費と物件費が多くかかっている。物件費の内、大部分を占めるのは施設の維持管理に係る経費で、内訳としては、建物維持管理・保守等に109,919千円、公共料金に44,640千円がかかっている。行政収入では乳幼児一時預かりで2,836千円、友の会会費で1,029千円の収入があった。											

指標		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)			4	7.6	
	1㎡当たりコスト(円)			85,300	85,433	
	人にかかるコストの割合(%)			41	36.9	
	蔵書回転数(貸出冊数/蔵書数)			2	2	
	貸出1冊当たりコスト			1,352	1,223	
	開館1日当たりコスト(円)			2,745,597	2,757,982	
	利用者1人当たりコスト(円)			1,353	1,322	
備考	前年度と比較して、1㎡当たりコストが133円増加、開館1日あたりのコストが12,385円増加している一方で、利用者1人あたりのコストが31円減少している。これは行政費用の増減がほぼ横ばいである一方、利用者数が増加したためである。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	入館者数	目標値 実績値				600,000 707,295
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ	子どもから大人あらゆるまで世代に利用され、知の情報発信基地、地域コミュニティの中核施設としての役割を担っており、必要性は高い。					
現状・課題	○安全で安心して滞在できる快適な施設となるよう、「おもてなしの心」をもってサービスを提供するとともに、利用者の視点に立った環境の整備をさらに行っていく必要がある。 ○いつ来ても「ワクワク感」、「ドキドキ感」を感じられる施設となるよう、「読書を愛するまち・あらかわ」宣言を踏まえ、魅力ある事業、イベントを継続的に実施していく必要がある。 ○区民に身近で愛される施設となるよう、ゆいの森の運営をサポートするボランティアの育成を図っていく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○職員の接遇のさらなる向上のための研修等の実施、利用者にとって分かりやすい館内サインのさらなる充実 ○事業、イベントの計画的な実施、他部署や関係機関、地域団体等多種多様な団体との連携 ○各種ボランティア講座の開催、ボランティアの活動の場の提供、ボランティア団体同士の交流・連携					
議会、利用者等からの意見	H29 6月会議 ・福井県立文学館や、他自治体との交流・連携について H29 6月会議 ・全国からの視察の受入体制について H29 6月会議 ・サインや、館内ディスプレイの充実について H30 6月会議 ・明治維新百五十年の企画展(彰義隊)について					



ゆいの森あらかわは平成29年3月25日開館のため、平成28年度は旧荒川図書館の数値が大部分を占めている。

ゆいの森あらかわは平成29年3月25日開館のため、平成28年度は旧荒川図書館の数値が大部分を占めている。